

2017年度事業報告

社会福祉法人 椿福社会

1 はじめに

2016年度からの社会福祉法の改定により、社会福祉法人のガバナンスの強化が求められ、評議員会が必置の議決機関となった。これにより評議員会の理事会に対するけん制機能が強化されるとともに、理事、監事の責任の重さも強調されるようになった。当法人においても法の求めるところに従い、理事長のもとで施設管理者を中心とした役員体制として2017年度の事業を行い、意思決定機関の役割りを果たしてきた。

また、今回の制度改革で社会福祉法人には地域における公益的な取り組みが求められるようになった。この点は、まだ法人としての取組は不十分であり、今後検討しなければならない課題となっている。

2 法人事業の概要（2018年3月31日現在）

2018年3月31日現在の法人事業の定員、利用契約者数は次のとおりである。

施設事業所名	事業名	定員（人）	利用契約者数（人）	前年同期（人）
つるみの郷	施設入所支援	40	40	40
	生活介護	40	40	40
	短期入所（日中一時）	4	19	1
ワークセンター つるみの郷	生活介護	20	24	26
	就労継続支援B型	20	27	24
つるみ更生指導所	生活介護	20	23	28
	日中一時	7	2	6
生活支援センター ひまわり	計画相談		126	152
	地域定着支援		7	8
グループホームつばき	共同生活援助	39	36	34
ホームヘルプセンター ひまわり	居宅介護		27	25
	行動援護		7	7
	移動支援		60	60
	重度訪問介護		1	1
	予防訪問介護		0	6
	訪問介護		0	5
椿福社会ケアプラ ンセンター	居宅介護支援		0	19
	介護予防支援		0	8

3 活動報告

(1) 事業運営

- ① 4月から、職員の役割に応じた等級制度を導入した新たな給与規程を適用した。
そのうえで人事考課制度導入に向けた検討委員会を6回開催し、人事考課制度の検討をおこなった。その後の事業財政部会、法人運営委員会の議論を経て、人事考課制度実施要綱を策定し、2017年度の試行的な導入と、2018年度からの正式導入を決定した。
また、職員に対する説明会及び考課者となる副主任以上を対象とした考課者訓練を行い、職員が人事考課制度に慣れるように努めた。
- ② 日中事業、相談事業について利用者が減少傾向にある。地域的に事業所が増えてきたという条件とは関係なく、利用者、家族から信頼される事業所となるためには何が不足しているのか、何が大切なのかをしっかりと見つめ直していく必要がある。
- ③ つるみの郷の短期入所は、10月から1日2～3名の受入れを再開した。
利用者居室は、建築以来15年が経過して床や壁の傷みが目立ってきたため補修工事を行い、利用者のより快適な住環境の整備に努めた。
- ④ 障がい児者生活支援センターひまわりの相談支援事業では、今年度相談員2名が退職したこともあり、事業規模が縮小したが、2018年度には相談員の補充も行き、法人の窓口としての役割を果たしていく必要がある。
- ⑤ ホームヘルプセンターひまわりは、障がい者支援を中心に事業を進めてきたが、2013年からは介護保険事業も手掛け、障がい者、高齢者を問わず居宅介護に従事できるヘルパーの確保に努めてきたが、高齢者に対応できるヘルパーの確保が難しくなってきたため、予防訪問介護は4月30日に、訪問介護は7月31日に事業廃止届を提出した。
また、居宅介護支援事業はケアマネジャー1名だけの事業となり見通しが立ちにくくなったため、一旦介護保険事業から退くべく3月17日に事業廃止をおこなった。
行動援護は、ヘルパー及びサービス提供責任者の要件が見直され、2018年4月からは、行動援護従事者養成研修か強度行動障害支援者養成研修（基礎・実践）の終了がサービス提供の必須要件となる予定である。
ホームヘルプセンターひまわりでは、管理者、サービス提供責任者及び従事者2名の計4名が研修を受講した。
- ⑥ 4月1日に新卒者2名と常勤登用1名を、10月1日に常勤登用者1名を採用した。
2018年3月31日現在の職員数は95名で、相談員等の嘱託職員3名と障がい者雇用を行っているアルバイトの1名を除いて91名中常勤37名、非常勤54名となっている。グループホーム世話人、登録ヘルパーも含んでいるが、全職員に対する常勤職員の割合は40.6パーセントと、非常勤職員に依存する割合が高くなっている。
また、常勤職員の平均年齢は40.4歳、平均勤続年数は10.2年となっている。
安定した雇用のもとで法人事業に責任を持つ職員をいかに確保するかが大きな課題となっている。
残念ながら2018年度4月採用の新卒者はゼロであった。2018年度は、高卒

者の採用を改めて実施していく必要がある。

- ⑦ つるみ更生指導所は、1993年の建築から25年目となる。建物を長く維持するために建物診断を受けたところ、2階食堂ベランダの漏水、屋上の防水塗装、外壁工事など補修工事が必要との結果であったため、2018年1月から2月にかけて補修工事を行った。

(2) 組織管理

- ① 今年度も法人運営委員会のもとに設けられた各部会（運営・管理部会、事業・財政部会、安全・防災部会、研修部会、広報部会、危機管理部会）において法人全体の問題について議論を進めた。ただし、事業・財政部会では理事長を含めて理事5名が構成メンバーとなっているため、運営・管理部会は開催せず、事業・財政部会を月1回のペースで開催し、法人事業全体の議論を行った。
また、管理職を構成メンバーとしていた法人運営委員会に今年度から、総主任も加わり、法人事業全体の問題を討議する体制とした。
- ② 危機管理部会は2ヶ月に1度定期的で開催し、各事業所から苦情、事故、ひやりハット等の事例を持ち寄り、未然防止のための議論をおこなったが、研修部会にフィードバックし、法人研修の題材とすることはできなかった。
今年度の反省から、2018年度は研修部会と危機管理部会の連携に努め、危機管理部会にあがる身近な事例も題材にした研修を計画する。
- ③ 予想される大災害に備えた緊急対応体制を検討する安全防災部会は、今年度開催できず、2018年度の課題として残った。
- ④ 本部で法人全体の給与計算、請求事務、会計処理等の事務処理を一括して行う体制を整えた。また、施設長の専決範囲や通帳管理の仕組みも見直し、法人本部で資産、資金を一元的に管理する体制とした。

(3) その他

- ① 法人ニュースを4月、7月、11月、新年及び3月に発行し、広報に務めた。
ホームページも開設して5年になるため、広報部会を中心にスマートフォンに対応しやすいホームページとするための見直しを行い、体裁を新にした。
- ② 9月に地域交流ホールを地元茨田東15町会に敬老会の場所として提供する予定であったが、残念ながら台風のため中止となった。
また、鶴見区民まつりなどでワークセンターつるみの郷で製造しているパンの販売も行い、地域との交流を深めた。
- ③ 地元茨田東連合のネットワーク委員会に参加し、月1回の会合で情報交換を行った。

4 理事会・評議員会の開催状況

2017年度は理事会・評議員会を次のとおり開催した。

会 議	開催年月日	議 題
理 事 会		
2017年度第1回	5月24日	① 2016年度事業報告について ② 監事監査報告及び2016年度決算について

		て ③ 定款細則について ④ 公印並びに通帳管理規則について ⑤ 事務決済規程について ⑥ つるみの郷居室改修について ⑦ 理事・監事候補者の選任 ⑧ 評議員会の日時及び場所、議案の概要について
2017年度第2回	6月19日	① 理事長の選任について ② 常務理事の選任について
2017年度第3回	11月1日	① 役員報酬規程について ② つるみ更生指導所補修工事ならびに補正予算について ③ 給与規程について ④ 経理規程について ⑤ 公印並びに通帳管理規則の見直しについて ⑥ 事務決済規程について ⑦ 育児休業・介護休業に関する規則について ⑧ 2017年度中間事業報告について ⑨ 2017年度中間決算について ⑩ 評議員会の日時及び場所、議案の概要について
2017年度第4回	2018年 1月12日	① つるみの郷給食調理業務委託について
2017年度第5回	3月30日	① 2018年度事業方針について ② 2018年度予算について ③ 介護保険事業の廃止および定款変更について ④ 管理職の任命について
評 議 員 会		
2017年度第1回	6月19日	① 2016年度計算書類の承認について ② 理事・監事の任期満了に伴う選任について
2017年度第2回	11月22日	① 役員及び評議員等の報酬等に関する規程の見直しについて

5 研修の状況

2017年度は、職員の資質向上を通じ、福祉サービスの質の向上を図るため、研修部会で計画を策定し、人権研修、階層別研修、テーマ別研修として以下のとおり研修に取り組んだ。

日時	内容	研修種別	講師	参加者
6/20	・法人の歴史について	新人研修	寺谷博 常務理事	13名
7/28	・障がいとは ・やまゆり園の件について ・障がい者福祉の現場で働くこと	人権研修	浅野小五郎 理事長	41名
8/25	・人権について考える ・グループ討議	人権研修	浅野小五郎 理事長	13名
9/29	・より働きやすい職場づくりに向けて、私たちが果たすべき役割	スキルアップ研修 (中堅職員対象)	阪田敏夫 理事	28名
10/30	・若年層の利用者の支援について	実践交流会 (グループホーム)	小橋主任、 平田副主任	36名
11/24	・苦情やひやりハットを未然に防ぐ	危険予知トレーニング	宮本 威氏	31名
1/19	・椿福祉会が果たしてきた役割りと今後の課題 ・グループワーク	管理職研修	寺谷博 常務理事	14名
1/26	・Aさんの事例 ・グループワーク	実践交流会 (つるみ更生指導所)	武田副主任	27名
3/14	・正しい利用者支援についての視点を深める	人権研修	浅野小五郎理事長	28名

以 上